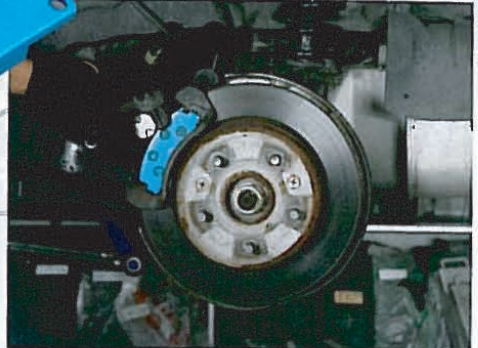


純正パッドと同等の価格で ブレーキ性能を アップ!



ブルーのバックプレートがチューニングパーツらしさを演出してくれるSCVブレーキパッド。適正温度域が50℃から550℃と広めに設定されているので、街乗りから安定した制動力を発揮し、峠やミニサーキットでの走行にもじゅうぶん対応してくれるぞ。



G-MASTER

SCVブレーキパッド

¥9,240(フロント用/リヤ用)

対応車種：国産車多数

格安ストリートパッドの性能を 街乗りIMPRESSON!!

しっかり効くから
安心感がアップするね!
by 編集部オータ



今回テストに使ったFC3Sにはもともと純正パッドが付いていたんだけど、クルマがドノーマルなのでそんなに問題は感じなかったんだよね。

でも、SCVブレーキパッドに交換してみるとその差は歴然! ブレーキの効きが明らかによくなったので、交換前以上にスピードを出して走っていても不安感がなくなったんだ。かといって、むやみにガツンと効くカンジでもなくて、踏み込んだぶんだけしっかり効く、コントロールしやすいパッドだと感じましたね!



それから、レーシングパッドみたいに“冷えてるうちはスカスカ”なんてこともなく、冷間時からちゃんと効いてくれるので、街乗りメインでもパッチリ使えます。

コントロール性バツグンの ストリート向け スポーツパッド

クルマをイジっていくうえで重要とされるのが「走る」、「曲がる」、「そして『止まる』の3大要素。これは街乗りメインのストリートカーにももちろん当てはまることなんだけど、吸排気チューンやブーストアップなどでパワーをあげたのはイイけど、それ以外の部分のステップアップを怠っているひとも少なくないみたいだね。

そこでオススメしたいのがブレーキパッドの交換だ。ブレーキパッドが消耗したついでに買い替えればリフレッシュ&チューニングが同時にできちゃうんだから見逃せない。

しかも、今回注目したGPスポーツの「SCVブレーキパッド」は純正とほぼ変わらない(車種によっては安い!)お値段というからオドロキでしょ?

これなら気軽にチャレンジできちゃうこと間違いナシって感じだよな。ちなみに、このSCVブレーキパッドはノンアス系の摩擦材を使っている、販売元であるGP

PSポーツの社員がじぶんたちのクルマに装着してテストを繰り返したという自信作。ストリートをメインに開発されているとはいえ、サーキットでも走行会レベルならじゅうぶん対応できる温度領域の広さを持つていることだった。

テストにも参加したD1ドライバーの川畑サンとフュージョン駒形サンのお話によれば、違和感のないリアなフィーリングにも気がつかけて開発したということ。これならブレーキチューン初心者でも安心して使うことができそうぞ。



ストリートはもちろん
峠やサーキットにも
対応しますよ
by GPスポーツ 川畑サン

1万円払う価値
はココにあり!!

- 消耗品交換のついでにチューニングができる
- ストリートからミニサーキットまで幅広く使える